

厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和7年6月18日（水）
12時58分開会 13時34分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：田村幸紀 副委員長：只野敏彦
委 員：中河つる子、鈴木孝寿、中島里司、深沼達生
議 長：山下清美（欠席：同時開催の総務産業常任委員会へ出席）
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、事務局次長兼総務係長：宇都宮学（総務産業常任委員会終了後出席）
- 5 議 件
（1）所管事務調査の申し出について
（2）その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 12 : 58】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（田村幸紀）：大変お疲れ様です。早速、厚生文教常任委員会を開会する。本日の議件は、所管事務調査の申し出ということで、前回の委員会のために「高等学校の振興策」ということで、三笠市のほうに行く予定で皆さんとお話したが、視察先の都合がつかないということで今回、調査項目も含めて再度協議をするということでよろしく願います。事務局より説明をお願いします。

事務局長（大尾智）：前回、三笠高校に行かせていただくということで、中島委員のほうで学校のほうとアポを取っていただき、その日程に合わせて三笠市議会事務局に視察の申し入れをしたところであるが、三笠市議会事務局側から教育委員会が業務多忙につき対応できないのでお断りするというお返事をいただいた。高校の校長先生のほうからも、中島委員のほうにちょっとそういう形なので、今回は対応できないということでお断りのお電話があったということである。お聞きすると、全市的な行事があるとのことである。盆踊りの全市的なものがあり、それに教育委員会としても、準備等々忙しいので対応できないとのことであった。なので、日にちを変えてというか、日程を例えば次の機会に移すということであればまだ可能かとは思いますが、今回のこの6月・9月の中で、再度日程調整というのはちょっと厳しい部分があるのかなという気がしている。今冒頭で委員長が申し上げた通り、調査項目も含めて再度ご検討いただければと思う。以上である。

委員長：それでは、調査項目自体を変えるか、それとも調査項目を高校の振興策ということにして三笠高校でなくてもっと違う学校を見に行くかという部分も含めて、皆さんにご意見いただければと思う。ご意見はあるか。

中島委員：私、三笠高校の校長と連携をとりながら、皆さんにお話をしたが、こういう結果になったことについては申し訳なく思っている。それで、次の所管事務調査の関係であるが、これについては調査する時期を今ここで協議して、急に決めても相手があることだから、相手の方に対して7・8月で間に合うのかどうか。であれば、もう今回道内研修を9月定例で申し入れをして、9月から12月までの間で調査項目も含めて改めて協議していただくと。そういう方法もあるのかなと思う部分もある。

深沼委員：今回、高校のそういう研修に行くということで、あえて夏休み期間中みたいな形をとったが、これ普通に9月以降になった場合、高校自体が休み期間中ではなくても、学校がある日でも対応してくれるものなのかなのかなと思ってお聞きしたい部分がある。実際どうなのか。

中島委員：今回、所管事務調査を予定していた部分に、学校と同時にレストランという、そういう話があったので、夏休み中というか、子どもたちが授業のないときにというレストランやっている、開いているという時期とか、私が打ち合わせをしたのはそういうことも含めて受け打ち合わせしているから。ただ、一般的な学校に対する調査で入るのであれば、学校の敷地内ではなくて、おそらく教育委員会サイドで別室を用意して、逆に関係者がその調査事務所に来てくれるという段取りになってくるので、だから必ずしも休み中でなくても対応はしていただけるのではないかなというふうに思う。

鈴木委員：三笠市はすごく視察依頼が多くて、多分断っているというところもあると思うのであるが、過去にもそういう話を聞いたことあったが、例えばそれが秋にしても受け入れてくれるのかという問題がある。

事務局長：三笠市の議会事務局と話した中では、日程があくまでも今回は多忙につき日程が合わないでお断りすると言われて、またお願いすることを可能かという話の中ではいいですよという答えであった。ただ、ちょっと現場の声とかいろいろな情報があって、ちょっとわからない部分もあるが。受けないというふうには私は言われなかった。

只野委員：昨日メールが来て三笠高校が駄目になったという話だったと思うが、そのとき、始まる前だったのであるが、音威子府の高校も特色のある高校なのではないかというのを思ったが、遠いのと、会期中にお願いして駄目になる可能性もあるかなと思ったりした。そこも本当にいい高校だし、村の人口は600何人だと思うが、そのうちの高校生が100人ぐらいいるという本当に2割ぐらいがそこを占めてるというところで、村にとっては欠かせないところなので、そこもいいのではないかというふうには思った。それか、他の人の言っていたテーマに変えて、再度この高校振興ではないところでやるかということになるかと思うが、どちらが可能性としてはあるのかなと。これは明日申し出しなければならぬという話かと思う。

事務局長：申し出はしなければならぬので。毎回テーマをだけ決めてと言いはちょっとあれであるが、具体的には委員長・副委員長が行き先を協議するというパターンのときもないことはないが、ただそうすると、今さんざん議論されているように、断られて行けなくなっても困るのである程度その行き先も含めてというのが一番いいが、やり方としてはテーマだけという場合もある。

委員長：休憩する。

【休憩 13:11】

【再開 13:34】

委員長：それでは再開する。それでは、まず日程については8月の頭というのをキャンセルして期間的には高校の夏休み前。あと、行き先の音威子府村にするか、あとはその下で深川市に行くのか旭川市に行くのかというのは、今、皆さんとお話した中を委員長・副委員長と事務局と、あと相手方もあるので、そこで相談して決めさせていたきたいと思うが、よろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：それでは、申し出については、前回の委員会でお話した通り、「高等学校の振興策について」ということで、その他所管に関する事項というのを付け加えての申し出を行うということで決定させていただく。中身の詳細は、また皆様に決定後、連絡をさせていただく。

（2）その他

委員長：その他、皆様から何かありませんか。

（「なし」との声あり）

委員長：次回の委員会はとりあえずはないということで、本日の厚生文教常任委員会は、以上で終了する。お疲れ様でした。

【閉会：13時34分】